

1 魅力ある教師になるために

教師とは、生徒とともに成長することのできるすばらしい職業です。魅力ある教師になるために心がけることを述べます。

1 生徒との関係づくり

学校生活全般において、生徒との信頼関係を築きましょう。生徒の様子をよく観察し、理解を深めるとともに、教師としての立場を踏まえ、生徒との約束を必ず守りましょう。また、生徒の名前を早く覚えたり、挨拶や言葉遣いにも気を配り、生徒との良好な関係を築きましょう。日頃から、生徒の様子をよく観察し、積極的に声をかけたり、よい変化や成果に対してコメントを返したりすることで、生徒の成長を促すことができるでしょう。

2 授業づくり

全ての生徒にとって学校生活の基盤となるのは授業です。授業をよりよい学びの場とするために、生徒が積極的に参加でき、達成感や満足感を味わえるような授業づくりを心がけましょう。まずは、教師自身が笑顔で楽しく授業を行うことが大切ですが、場合によってはメリハリをつけて生徒を厳しく指導する必要もあります。気付いたことや生徒の間違ひは、その場であるいは後ほど、個別または全体に伝えるようにしましょう。

また、生徒の取組状況をよく観察し、理解度や到達度を把握しながら授業を進めることも必要です。授業中の活動の観察や、授業後のワークシート等のチェックを通して、授業改善に役立てることもできます。

さらに、授業を通して教科の魅力を生徒に伝えることも教師の役割の一つです。英語を学ぶことの楽しさや意義を、自らの体験などを踏まえ生徒に語る機会をつくりましょう。

3 同僚性・チームワーク

教師が互いに支え合い、学び合える関係を構築することは、学校全体の組織力の向上や、生徒の成長にもつながります。英語科内だけでなく、他教科とも連携し教育活動に取り組むことが必要です。教科指導や生徒指導などにおいて、同僚から積極的に学ぶようにしましょう。困った時には悩みや心配事を一人で抱えこまず、先輩教師に相談して問題の解決を図るようにしましょう。教育活動の全ての場面において、「ともに働く」という姿勢が大切です。

4 自己啓発・自己管理

教師には担当教科の内容にとどまらず、幅広い知識と教養が求められます。常に自己を高めるための努力を惜しまず、学び続ける姿勢を大切にしましょう。まずは、教師として自身の英語力の向上を図りましょう。研修や研究などを通して研鑽を積むことや、検定試験を積極的に活用することも有効な方法です。また、教材の背景知識、映画、音楽、ニュース、会話に役立つ表現など、生徒の意欲を喚起する話題を日頃から蓄えておく必要があります。

さらに、魅力ある教師として活躍するために、心身ともに健康であることが大切です。教師には授業だけでなく、ホームルーム経営や部活動指導など多岐にわたる仕事があります。特に若い頃は無理をしがちですが、十分に休養をとったり、リフレッシュしたりすることが大切です。オンとオフの切り替えをうまく行い、時間を有効に使うように心がけましょう。

